



目指す児童像 ・やさしく ・かしこく ・たくましく

TEL:89-2043 FAX:89-2184

HP:http://www.fukui-city.ed.jp/koshino-e

↑本校HPのQRコード

☆令和5年度 学校評価の集計結果と分析 ご協力ありがとうございました

12月に実施した学校評価について保護者の皆さまにはお忙しい中、ご協力いただきありがとうございました。今年度もオンラインでのアンケート回答をお願いすることで、集計作業も効率よく進められ学校の業務改善に大きく効果がありました。今回は、その結果（抜粋）を報告させていただきます。

学校教育目標

「豊かな心を持ち

たくましく ともに生きる子の育成」



重点的に取り組む項目

- ・わかる授業づくり
- ・居場所づくり・絆づくり
- ・家庭・地域や中学校区との連携

●わかる授業づくりについて

児童	授業の内容は、よく分かる。	94.4%
保護者	我が子は、基礎基本の学習内容をしっかり身につけている。	88.9%

○学習や授業について、肯定的な回答割合が高い。

教員は、学習リーダーを中心とした「楽しい・わかる・できる」授業づくりにと取り組んでおり、児童は、日々の授業に主体的に参加し、学びを深めていることが読み取れる。

保護者・地域の方も、児童の姿を通して、本校の教育活動の成果を感じてくださっている。

→今後も、小規模校ならではの利点を生かし、一層の研究・取り組みを進めていく。

●居場所づくり・絆づくりについて(人とのつながり)

児童	学校生活が充実していて、学校へ通うのが楽しい。	100%
保護者	我が子は、学校生活を楽しんでおり、友人関係も良好である。	88.9%
家庭・地域・ 学校協議会	学校は、学校行事を通し、子どもたちが楽しく充実した学校生活を送り、自信をつけることができるように努力している。	100%
教職員	本校の子どもたちは楽しく学校生活を送っている。	100%

児童	みんなで、何かをするのは楽しい。	100%
児童	友達の意見を取り入れ、自分の考えを広げることができる。	100%
児童	グループの活動や話し合いは、積極的に取り組んでいる。	100%
教職員	本校は、児童生徒の発言や質問を生かした、思考を深める授業に努めている。	100%
教職員	本校は、児童が積極的に発表するような授業づくりを工夫している。	100%

○学校へ通うのが楽しい」に対する児童・教職員と保護者間での意識差が縮まった。

「学校であったことを話している」項目について 児童・保護者ともに肯定的な回答の割合が増えている。教職員が、授業や学級経営、行事等において、児童が家庭で話したくなる話題づくりを積極的に行ってきたことで、家庭において学校に関する会話が増え、楽しい学校生活の様子が伝わったと考えられる。

→今後も児童の思いを大切にするとともに、児童が家庭で話したくなるような教育活動を推進していく。



2年生主催全校なかよし遊び



5・6年生の声かけによる 昼休みの全校児童でのドッジボール

●居場所づくり・絆づくりについて(地域とのつながり)

児童	越廼のことを調べたり、地域活動したりする時間は、楽しい。	94.4%
家庭・地域・学校協議会	学校は、地域の教育力(地域の人材・施設・伝統・文化等)を生かそうとしている。	100%
教職員	学校は、児童生徒が郷土福井への関心を高めたり、大切に感じたりできる活動に十分取り組んでいる。	100%

○地域の資源(ひと・もの・こと)を活用しての地域学習を評価していただいている。

各学年で段階に応じて越廼地区を知り、発信する活動に児童主体で取り組むことで、これまで漠然と捉えていた越廼地区の良さや課題をさらに身近に明確に捉えることができたり、越廼地区を守り盛り上げていくには、まず自分たちが恵まれた環境にある越廼地区の魅力を知り、愛着を持ち誇りに思うことが大切であることに気付くことができたりしたことが児童の評価につながった。

→今後も地域の一員として、地域につながり、地域のよさを再発見し、地域の課題を考え、地域の魅力が発信できる地域学習に取り組む。



●●ふるさとの学び特別賞 優秀賞受賞！●●

ふるさと福井への誇りと愛着を育む優れた実践を行っている学校を表彰する福井県教育委員会主催の「ふるさとの学び特別賞」優秀賞に、本校が選出され、その表彰式が2月3日(土)「福井ふるさと教育フェスタ」の中で行われました。表彰式では、児童代表が杉本達治知事から表彰盾をいただきました。本校は、1年を通して、ふるさと越廼を知り愛着を持ち、ふるさと越廼と自分の未来とを考えるふるさと教育に取り組んできました。今後もふるさと越廼に愛着を持ち課題解決に向けて取り組む児童の育成に力を注いでいきます。



杉本達治知事より表彰盾をいただきました

▲本校の課題について

学校評価から見えた本校の課題は以下の通りです。(抜粋)

(1)家庭学習

児童	宿題は忘れずにしている	88.9%
児童	宿題以外に予習や復習など自分で考えた学習を家でしている。	83.3%
保護者	我が子は、家庭学習に意欲をもって取り組んでいる。	55.6%

(2)夢や目標、キャリア教育

児童	将来の夢やめざす目標をもっている。	83.3%
保護者	我が子は、つきたい職業など、将来の夢や目標をもっている。	55.6%
教職員	本校は、児童生徒が夢や将来の目標を持ち、その実現に向け努力するよう、キャリア教育に力を入れている。	100%

(3)家庭・地域・学校との信頼関係

児童	いろんなことを相談できる友達がいる。	88.9%
保護者	子どもに関することで、学校に相談できる。	66.7%
保護者	学校は、子どもたち一人ひとりを大切に、あたたかく指導している。	100%
家庭・地域・学校協議会	学校へは、子どものことで気軽に相談したり、要望を伝えたりすることができる。	100%

(4)言葉で伝え合う集団づくり

児童	地域の人にあいさつをしている。	88.9%
保護者	本校の児童は、地域でのあいさつをがんばっている。	88.9%
家庭・地域・学校協議会	子どもたちは、元気にあいさつをし、人に親切にしている。	75%

→考察は裏面に

▲本校の課題について (考察編)

学校評価全ての項目については
本校ホームページに掲載しています→



(1)家庭学習について

▲家庭学習に対する児童と保護者における意識の差が見られる。

- ・「宿題以外に予習や復習など自分で考えた学習を家でしている。」と回答する児童が増えている一方、「我が子は、家庭学習に意欲をもって取り組んでいる。」と回答する保護者は、減少傾向。
- ・教員や保護者の従来の家庭学習に対する考えも刷新し、「やらされている」から、子ども達が「自分のためにやる」と思えるような手立てが必要。「自立した学習者」を育てるため、家庭学習への取り組み方のさらなる指導が必要。

(2)夢や目標、キャリア教育

▲保護者、児童間で「夢や目標をもっている」の回答結果に差が見られる。

- ・道徳や学活等において未来につながる題材を扱うとともに、生活科や総合的な学習の時間等の講師招聘の際に、その仕事の意義や生きがいなどを語っていただくなど本物に触れる機会を設けた。しかしそれが十分に保護者に伝わっていないと考えられる。
- ・今後もキャリア教育を充実させていくとともに、学級通信やHP等で丁寧に情報発信する必要がある。

(3)家庭・地域・学校との信頼関係

▲学校への相談がしづらいと考える保護者が増えている。

- ・「学校は、子どもたち一人ひとりを大切に、あたたかく指導している。」との肯定的な回答が100%であり、学校や教師への信頼感が高いと判断できる。その一方「学校に相談しづらい」と考える保護者が増加している。今後、より懇切丁寧な児童への指導や保護者対応を心がけていく必要がある。

(4)家庭・地域・学校との信頼関係

▲学校外で、しっかりとあいさつができる児童が減少している。

- ・校内では、二言挨拶が十分に浸透している一方、「地域の人にあいさつをしている」児童が減少している。
- ・「あいさつは大事だからしましょう」と形骸化した指導ではなく、児童が、あいさつはその行為に意味があることやあいさつの大切さを納得できるような指導が必要。また、あいさつについて行った指導を、学校便りや学級通信等で知らせる。併せて、家庭でも同様に声をかけ、できた時に褒めていただくなどの好循環を生みたい。

○令和6年度に向けて

小規模・少人数の良さを生かして取り組んでいく。

→自分を知り、自分の将来への選択肢、可能性を高める取組

→仲間とともに学び合い高め合える取組

→地域を知り、地域の未来に貢献することができる人材の育成

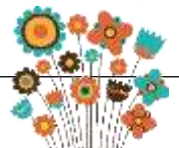


本校の活動の様子はホームページにて毎日更新！ →→→
越えっ子の活動の様子をぜひご覧ください。

☆わくわく交流デーがありました。 2月6日(火)



令和6年度に入学するお子さんの体験入学「わくわく交流デー」がありました。進めてくれたのは、2年生。この日に向けて練習してきました。ようやく後輩ができる、張り切っていた2年生、しっかりお兄さんお姉さんの顔になっていましたよ。



☆思いやりの木を育てよう。 ～スポーツ図書委員会の活動～

スポーツ・図書委員会では、「思いやりの木を育てよう」の取組を行っています。毎日の生活の中で温かい声をかけてもらったり助けてもらったりして素敵だなと思ったときには、花びらカードに友達の名前とエピソードを書き、掲示板の木に貼るというもので、中でも素敵なエピソードは放送で紹介するのです。この活動は、毎朝ポストに入っている桜の花びらを確認するところから始まります。ポストを開き、花びらに書かれている内容を確認し、放送で読み上げる内容を決め、花びらを思いやりの木に貼り、とメンバーで協力をしながら進めています。お昼の放送で読まれる温かい声かけの様子やエピソードを聞いていると、心がほんわか温かくなります。思いやりの木に、温かい優しさいっぱいの花が咲いていくのが楽しみです。



☆出張2くみカフェ 福井市役所に行きました。もちろん 越廼 PR も！ 2月13日(月)



今年度の2組の活動は、「2くみ Café」。学校の喫茶店としてのスイーツ作りやおもてなしの活動を通して、他教科での学びを実生活に生かしたり、状況に応じた適切なコミュニケーションをとることを学習しています。

今回は、学校を飛び出して、公共バスに乗っていざ福井市役所へ。教育委員会の先生方を前にタブレットを使って堂々と越廼をPRし、手作りスイーツをプレゼントしました。越廼PRとおいしそうなスイーツに、教育委員会の先生方は始終ニコニコ笑顔。バス内では、整理券をとって乗り込んだり、片道分の料金を運賃箱に入れたり、ロータリーでは何台も来るバスを選んで乗り込んだりしました。また、道路では信号のある横断歩道を渡ることもしました。普段できない体験をして充実した半日になりました。

☆6年生を送る会がありました。「楽しい思い出をありがとう！中学校でもがんばれ！」 2月22日(木)

これまでお世話になった6年生に感謝の気持ちを伝える6年生を送る会が行われました。送る会は、6年生が花のアーチくぐって入場するところから始まり、各学年の発表、プレゼント渡しとプログラムは進んでいきました。各学年とも、6年生への感謝の思いが伝わる発表でした。実行委員長の5年生からの発表は、6年生の6年間で振り返る「思い出のアルバム」でした。素晴らしい動画で会場いっぱいに感動が広がりました。6年生は、越廼小学校のリーダーとして、見通しを持ちながらリーダーシップを発揮し、18人をまとめてくれました。6年生の役割に対する責任感や仲間を思う優しさ、リーダーシップをしっかりと在校生が引き継いでくれることと思います。

